

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公表番号】特表 2006-516708 (P2006-516708A)

【公表日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-026

【出願番号】特願 2006-501574 (P2006-501574)

【国際特許分類】

**F 1 6 H 61/46 (2006.01)**

**F 1 6 H 61/42 (2006.01)**

F 1 6 H 59/44 (2006.01)

F 1 6 H 59/54 (2006.01)

F 1 6 H 59/72 (2006.01)

F 1 6 H 61/66 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 61/46

F 1 6 H 61/42 D

F 1 6 H 59:44

F 1 6 H 59:54

F 1 6 H 59:72

F 1 6 H 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 22 日 (2007.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

少なくとも 1 個の油圧ポンプ (2) と、2 個の作動管 (6) に接続され、キャパシティーが調整可能な少なくとも 1 個の油圧モータ (5) とを備え、油圧ポンプ (2) が作動油を作動油タンク (3) から取り出して、少なくとも 1 個の作動管 (6) を経て油圧モータ (5) に送り、また油圧モータ (5) を出る作動油の流れを制限することができるブレーキ弁を備えた移動台車用油圧トランスミッションにおいて、

センサ (11) が車速又はこの車速に対応する出力回転数を検出して電子制御装置 (8) に送り、電子制御装置 (8) が速度要求に応じてこれに相当する車速又は出力回転数を計算し、センサ (11) が検出した車速又は出力回転数が計算された車速又は出力回転数にほぼ一致するように、油圧モータ (5) のキャパシティーを調整し、制動操作時にはあらかじめ確定された減速度が得られるように、油圧モータを調整することを特徴とする油圧トランスミッション。